



スペシャリスト達

感染管理認定看護師（4名）

安全で快適な療養生活・職場環境をめざし、感染管理活動に日々取り組んでいます。感染制御チームメンバーや現場の感染リンクスタッフと協働し、それぞれの専門性や立場を発揮しながら、院内の医療関連感染の低減を目指しています。また病院内だけでなく、他施設と連携を行い、感染対策の強化を図っています。

がん薬物療法看護認定看護師（2名）

日常生活、社会生活において化学療法を受けられる支援や副作用に対する看護、意思決定支援の援助など、患者様が安全・安心して治療が受けられるよう、日々の看護を行っています。また、看護スタッフががん化学療法看護に対する知識を向上させ、病院全体で統一した看護を提供できるように、実践・指導に取り組んでいます。

呼吸器疾患看護特定認定看護師（1名）

呼吸器疾患の多くが発症から増悪と安定を繰り返し、慢性的な経過を辿る過程で、徐々に病状が進行するため予後を見通すことが難しいと言われています。

呼吸器疾患看護特定認定看護師は、COPD、間質性肺炎、肺がん、気管支喘息、肺結核後遺症、睡眠呼吸障害、神経・筋疾患等によって生じた呼吸障害を抱える対象者に対し症状緩和のためのマネジメントを行い、QOLを高めるための療養生活支援を実践することが求められます。呼吸障害によって生じる苦痛をアセスメントし、多職種とともに寄り添う看護を行っていききたいと思います。

特定行為研修修了看護師（5名）

特定行為とは、2015年より厚生労働省が開始した「特定行為に係る看護師の研修」を修了した看護師のことを言い、これまで医師にしかできなかった特定の医行為を医師が作成した手順書に基づき実施することができます。

看護に医学的視点を踏まえたアセスメントや臨床推論などの知識・技術・倫理的側面が加わり、「その行為が看護の延長」にあるよう、質の高い看護実践をめざして活動する特定看護師が、現在当院には3名所属しています。